

指定ごみ袋の種類

指定ごみ袋は主に下記の3種類があります。

| 袋の種類 | 説明 | メリット | デメリット | ごみ袋代の目安 |
|--------------------------------|--|---|--|--|
| 色 (透明か半透明) 指定ごみ袋 | 市販のごみ袋で色を指定したごみ袋 | <ul style="list-style-type: none"> ● 透明のレジ袋であれば、そのままごみ出しに使用できる。 ● 市販の透明のごみ袋は全国どこでも購入できる。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 半透明の袋は基準が人や袋により異なる。 ● 透明の薄い袋などの場合は、破れやすく、ごみステーション(集積場)が汚れやすい。 | 市販の透明のごみ袋代 (45リットル 1枚10円~15円程度) |
| 芦屋市 指定ごみ袋 | 市が独自に仕様を決めた指定ごみ袋 | <ul style="list-style-type: none"> ● 芦屋市専用のごみ袋である。 ● 袋に分別区分を記載することによる啓発や情報発信ができる。 ● 袋の厚さ、半透明化の指定等が可能 | <ul style="list-style-type: none"> ● 専用のごみ袋を購入する必要がある。 | 市販のごみ袋代と同程度 (45リットル 1枚10円~15円程度) |
| 芦屋市 有料化 (料金上乗せ) 指定ごみ袋 | 市が独自に仕様を決めた指定ごみ袋に ごみ処理料金の一部を上乗せした 指定ごみ袋 | <ul style="list-style-type: none"> ● ごみ袋代が高額になることにより、ごみ袋の使用量を減らすために分別、減量が進む。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 専用のごみ袋を購入する必要があるうえ、金額負担が大きい。 | 市販のごみ袋代+処理料金 (45リットル 1枚45円程度) |

- ごみ袋の値段は、近隣市の市民の方用の指定ごみ袋(神戸市、尼崎市)を参考にしています。有料化をしない指定ごみ袋の場合、市販の黒いごみ袋、透明のごみ袋と同程度で販売されています。ただし、芦屋市は事業者数が少ないため、事業者用のごみ袋代は市民用よりは高くなる可能性もあります。
- 自治体によっては、事業系用のごみ袋を有料化(料金を上乗せ)しています。(例 神戸市)
芦屋市は、市民の方と事業者の方がごみを持ち込まれた際の料金は同一ですが、多くの自治体は、事業者がごみを捨てる場合、市民の方より割高になります。
- 指定ごみ袋は、芦屋市が税金をかけてごみ袋を作成するのではなく、芦屋市で利用できるごみ袋の仕様を決定し、メーカーが製造・販売します。
- 指定ごみ袋は、スーパー、コンビニエンスストア、ドラッグストア、市役所等での販売を想定しています。